

当院において入院下で顎骨骨折の治療を受けられた方およびそのご 家族の方へ

—「入院加療を要した顎骨骨折患者における受傷環境と患者要因の関連性の検討」へご協
力のお願い—

研究機関名およびその長の氏名：岡山大学病院 前田 嘉信
研究責任者：岡山大学病院 口腔外科 顎口腔再建外科部門 武田 斉子

1) 研究の背景および目的

あごの骨（顎の骨）は、転んだりぶつかったりした時に折れやすい骨の一つです。

下あごの骨が折れると、痛みが強く出たり、食事がとりにくくなったりするため、入院して治療が必要になることがあります。

あごの骨折には、

- 家の中で転んだ
 - 外でぶつかった
 - お酒を飲んでいて転倒した
 - 物にぶつかった、けんかなどで強く殴られた
- など、さまざまな理由があります。

また、患者さんの体の状態や生活のようす（年齢、飲酒の習慣、もの忘れの有無など）によっても、ケガをしやすい場面や骨折のしかたが変わる可能性があります。

しかし、どのような場所でケガをしたのか（受傷環境）と 患者さんの生活や体の状態（患者要因）が、あごの骨折とどのように関係しているのかは、十分に分かっていません。

そこで今回、当院で入院治療が必要になったあごの骨折の患者さんについて、

- どのような場面でケガをしたのか
 - どのような患者さんがどのような折れ方をしているのか
- を調べることにしました。

この研究から得られた結果は、

- ケガの予防に役立つ情報
 - 患者さんの状態に合わせた治療や支援
- につながる可能性があります。

この研究では、普段の診療で記録された情報だけを使い、名前などの個人が特定される情報は使いません。患者さんに新たな負担がかかることはありません。

2) 研究対象者

2020 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日の間に岡山大学病院口腔外科において入院してあごの骨折の治療を受けられた方、70 名を研究対象とします。

3) 研究期間

研究機関の長の許可日～2027 年 5 月 31 日

情報の利用開始予定日：研究機関の長の許可日から 1 週間後

4) 研究方法

当院において入院下で顎骨骨折の治療を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに、**ケガをしたときの状況（受傷環境）** や **患者さんの生活や体の状態（患者要因）** に関するデータを選び、これらがどのように関係しているかを調べます。

そして、どのような場面であごの骨折が起こりやすいのか、また どのような患者さんに起こりやすいのか を分析し、あごの骨折が生じる仕組みを明らかにすることを目的としています。

5) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- 入院日 / 受診日 / 退院日
- 年齢（入院時）／生年（省略可）
- 性別
- 既往歴：認知症（有／無）、脳血管疾患、糖尿病、高血圧、肝疾患など
- 飲酒：受傷時飲酒の有無（intoxicated at injury yes/no）
- 受傷機転：転倒、交通事故（歩行、自転車、自動二輪車、自動車）、暴行（被殴打）
- 受傷場所：屋内／屋外、階段、浴室、道路など
- 受傷部位（骨折部位）：下顎関節頭、下顎骨体部、上顎
- 画像所見
- 治療法：保存的、手術
- 入院期間（日）
- 合併症：感染、再手術、神経障害、咬合不全、肺炎、院内転帰（自宅／施設／死亡）
- 骨折の重症度（粉碎の有無、複数部位骨折）

6) 試料・情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後 5 年間、岡山大学病院口腔外科顎口腔再建外科部門研究室内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

7) 二次利用

この研究で得られた情報を将来別の研究に用いる可能性はありません。

8) 研究資金と利益相反

この研究は特段の費用を要しないため特定の研究資金は用いません。

この研究に関して利害関係が想定される企業等で研究責任者や分担者あるいはその家族が活動して収入を得ているようなことはありません。

9) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意によ

り、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方（ご家族の方等も拒否を申し出ることが出来る場合があります。詳細については下記の連絡先にお問い合わせください。）にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。ただし、すでにデータが解析され、個人を特定できない場合は情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・研究への利用を拒否する場合の連絡先>

岡山大学病院 口腔外科 顎口腔再建外科部門

氏名：武田 斉子

電話：086-235-6798（平日：9時00分～15時00分）